

1. 事業の位置付け

事務事業名	放課後子ども教室推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
予算科目	01-100501-080000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	当該校全児童	事業期間	平成19年度～
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： やわた子ども村 】		
目的・目標		事業の概要	
放課後等に子どもが安心して活動できる居場所がつけられるとともに、次世代を担う児童の健全育成が行われています。		放課後などに子どもが安心して活動できる居場所づくりを図るとともに、児童の健全育成を支援するため、放課後子ども教室を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地区別運営委員会開催回数						単位	回
	説明・算定式	延べ数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	2	3			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	地域ボランティア数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			30	70	75			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
「やわた子ども村」をモデル地区として支援するとともに、取組について検証したことにより、放課後等の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進することができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国が定めた「放課後子どもプラン」により、自治体を実施主体として行うものとされており、全児童対象の事業であることから、またやわた子ども村の利用者ニーズが高いことから推進していく必要がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域住民や学校、企業、行政が協働することで賛同して参加するボランティアも増え、地域力が高まってきている。この取組を継続していくことが放課後対策の充実、活性化につながり有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	総合計画の実施計画事業に位置づけており、地域性をいかした取組を拡大していく方向である。国・県から補助金を受けているが、やわた子ども村としても自主・自立のため参加者からの会費を事業費に充てている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	本市からやわた子ども村に事業委託しており、活動は地域住民の自主性にかかっているため、企業への委託などの対象とはならない。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
今後に向けた課題の分析 全市的な展開に向けては、学校関係者、子どもに関する全市的な公的団体、行政の関係各課による「放課後子どもプラン運営委員会」を今後立ち上げて、市としての今後の展開に向けた方向性等を検討していく必要がある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				モデル地区の設置	実施地区の検証	実施地区の検証		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	395	395	395	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	309	309	309	0	0
事業費 (A)		0	0	704	704	704	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,098	2,098	2,098	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	2,802	2,802	2,802	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> やわた子ども村の取組の検証を行うとともに、各地区の情報収集、研究会やプロジェクトにおいて拡大に向けた研究をしていく。	
平成21年度取組方針 やわた子ども村に対する支援の継続と、学童保育との連携などを検討する。	
課長コメント	国の取組事業の一つとしての位置付けがされており、今後も事業の拡大の検討が必要となると思われる。庁内的な展開に向けて課題等を検討する必要がある。